

連携室だより

鹿児島医セン

鹿児島医療センター(心臓病・脳卒中・がん専門施設)

2019.10 vol. 162

令和元年度 鹿児島医療センター附属鹿児島看護学校

第1回 オープンキャンパスを終えて

令和元年7月28日に高校生・社会人を対象にしたオープンキャンパスを開催いたしました。日差しが強く気温が高い中、146名の方々が参加されました。

学校紹介

学校紹介では、教員が本校のカリキュラムや卒業後の進路、今年度の入学試験の説明を行い、本校の2年生が学校生活の説明を行いました。参加者は配布された資料を見ながら、熱心に説明を聞かれています。



看護技術体験

看護技術体験では、看護師になるために看護学生がどのようなことを学んでいるのかイメージを抱くことができるように、点滴の滴下調整、血圧測定、創傷処置、心音・呼吸音の聴取を実際に参加者に体験してもらいました。普段の生活では経験することのできない看護学校ならではの体験ができたと思います。参加者から、「看護技術のイメージを持てるようになった」や「より看護師になりたいと思えるようになった」といった感想をいただきました。

教材展示コーナー

本校の講義・演習で使用する教材を展示し、在校生が説明を行いました。参加者には演習で用いる物品に実際に触れてもらい、看護学校での学習を体感してもらいました。AEDや救急カートなど初めてみるものも多く参加者は在校生の話を熱心に聞かれています。



学生交流会



緊張していた参加者も在校生との交流会では、笑顔を交えながら会話をしている様子が見られました。参加者は在校生に、学校や寮での生活、入学試験の対策などを質問していました。参加者からは「不安なことが聞けて気持ちが楽になった」というような声も聞かれました。オープンキャンパスを通して、参加者だけでなく、在校生にとっても楽しい時間を共有する機会となりました。

文責：実行委員 2年生 福元 樹



ふれあい看護体験

令和元年8月2日「看護の心をみんなの心に」をテーマに、当院での体験を通して、「いのちの大切さ、思いやり、支えあい」を伝え、看護を理解して頂き、将来の進路決定の一助になればと思い、一日ふれあい看護体験を実施いたしました。

鹿児島県内の高校生21名の参加があり、白衣に身を包んだ生徒たちが、各病棟に分かれ、実際に患者さんへの看護援助を体験しました。

各病棟、担当看護師と一緒に、検温、血圧測定、車いす移送、シャワー浴介助、ベッドメイキング等を見学、体験しました。初めての体験で、戸惑いや、緊張感を感じながらも患者さんに話しかけ、表情をうかがいながら一生懸命取り組んでいました。また、実際の患者さんと話をすることで「初めて患者さんとふれあってみて、楽しかった。患者さんが看護師さんを頼りすぎてすごいと思った」など看護師の役割ややりがいについて感じる事ができていました。



午後からは、AED体験、グリッターパグでの手指衛生体験、術衣装束体験を行いました。初めて行う体験に目を輝かせながら実施されていました。

最後に体験を終え、当院の2年目看護師2人が、看護師を目指したきっかけや大切にしている看護について語り、懇親会を行いました。看護の語りや本日の体験を通して、「看護師になりたいという気持ちが高まった」「看護師の寄り添う態度が患者さんの精神的な支えになっていると感じた」「人の命に関わる大変なお仕事だと感じたが、かっこいいと思った。私もこんな看護師になりたい」等の前向きな意見が聞かれました。

私自身も今回の企画を通して、改めて看護の原点に立ち返る機会になりました。ふれあい看護体験を通して、患者さんと看護師の関わりや、仕事の内容を理解して頂き、将来の仕事の選択肢のひとつになったのではないのでしょうか。将来、同じ看護師として働けることを心待ちにしております。

(文責：東2階病棟 看護師長 池田 智子)



第4回 健康フェスタ

令和1年9月8日(日)第4回健康フェスタを開催致しました。毎年、医療サービス向上委員会が中心となり、看護学生のボランティアの協力を得て、各部署から催し物を行います。9月は敬老の日もあり、「明るく元気に健康長寿!」をメインテーマとして企画をしました。

病院紹介では、昨年度開設した東8階病棟より「腎不全の紹介」のポスター掲示をしました。健康測定コーナーでは、血管年齢測定を始め、骨密度や体脂肪測定を受けて頂きました。体験コーナーでは、これまでの救急蘇生体験や運動指導に加えて、薬剤部のバスボン作り、栄養管理室の減塩味噌汁試飲と新たなブースも設けました。また、認定看護師によるミニ講座や専用ブースにも多くの参加がありました。来場者からは「減塩味噌汁は、だしが効いていて美味しい」「教わったことを実行して健康維持に心がけたい」などの言葉を頂きました。

2時間半という限られた時間ではありましたが、健康に関心を持って頂くと共に鹿児島医療センターを身近に知って頂く貴重な場を設けることができたと思います。

(文責：メディカルサポートセンター 退院調整看護師長
西辻 美佳子)



がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会のお知らせ

令和元年度 鹿児島医療センター がん診療に対する緩和ケア研修会(多職種参加)を開催します。
鹿児島保健医療圏の地域がん診療連携拠点病院として、がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修を行うという役割を果たすとともに、鹿児島県における緩和ケア医師等研修事業を円滑に進めるために、研修の講義及び企画・運営・進行に協力する指導者を養成することを目的として、医師のみならず、看護師、薬剤師など多職種参加の研修会を予定しています。

開催日：令和2年1月12日(日)

開催場所：鹿児島医療センター附属鹿児島看護学校

申込期限：令和元年11月22日(金)までに、FAXまたは E-mail でお申し込みください。

詳細につきましては、**鹿児島医療センターホームページ**(<https://kagomc.hosp.go.jp>)をご確認ください。

問い合わせ先：099-223-1151(平日9:00~17:00 経営企画室)

患者サロン 夏祭り

当院では患者さまとご家族の交流の場として、毎月第2土曜日に患者サロンを開催しています。8月と12月は季節の催しとして夏祭りとクリスマス会を行っています。

8月10日(土)の夏祭りでは、今年も縁日としてヨーヨー釣りや射的、しろくま風かき氷を提供し、多くの方の笑顔が見られました。

入院されているお子さんも、楽しそうな表情でイベントを満喫し、射的で的が倒れた時は、周りからも「おっ！」と拍手や歓声上がり、入院中でも少しは「夏祭り」を感じていただけたのではないかと思います。

かき氷も「昨年よりもフワフワ感が増した」という声も聞くことができ、普段はなかなか食が進まない方も「ちょっとだけ食べられました!」とうれしいお言葉をいただきました。

誰でも参加できますので、お気軽にいらしてください。

(文責：管理栄養士 井上 世雅)



新任紹介

心臓血管外科

立石 直毅



9月より心臓血管外科で勤務することになりました立石 直毅と申します。前任地は鹿児島大学ですが、その前までは医局には属さずに兵庫県の姫路循環器病センターで心臓血管外科医として勤務しておりました。鹿児島に帰ってきて2年半が経ちますが未だ関西弁が混じることがあります。症例数も多い病院であり、鹿児島に帰ってきたら勤務したいと思っていた病院での勤務ということもあり、楽しみにしています。ご迷惑をおかけするかと思いますが、よろしくお願いたします。

心臓血管外科

樋渡 啓生



2019年9月から心臓血管外科に赴任いたしました樋渡 啓生と申します。鹿児島大学出身で卒後6年目です。前任地は川内市医師会立市民病院で一般外科として勤務しておりました。まだまだ未熟ではありますが少しでも早く成長してこの病院および鹿児島の医療に貢献できるよう精進します。鹿児島医療センターでの勤務は初めてであり不慣れでご迷惑をおかけすることがあるかと思いますが、宜しくお願い致します。

■お問い合わせ先

独立行政法人
国立病院機構

鹿児島医療センター(心臓病・脳卒中・がん専門施設)

〒892-0853 鹿児島市城山町8番1号

(代)TEL 099(223)1151 FAX 099(226)9246 <https://kagomc.hosp.go.jp/>

【地域連携】 蘭田・丹後田・西辻・吉永・迫田・椎原・吉留・久保・櫻木・田辺・山之内・山口

【がん相談】 松崎・森・水元・原田・菊永・杉本・児玉

地域連携室専用 FAX▶099(223)1177

※休日・時間外は当直者で対応します。

